

## ◆ 今週のコメント

- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2.07で、第30週(3.80)以降大幅に減少したものの、いまだ過去5年平均値(1.31)を上回る値となっていますので、引き続きご注意ください。
- ・流行性角結膜炎の定点当たり報告数は1.40で、過去5年平均値(0.95)を上回り、本年で最も多くなっています。年齢階級別にみると、20歳代(43%)が最も多く、20歳以上で86%を占めています。
- ・百日咳の報告は、1例(6ヶ月～11ヶ月)で、本年の累積報告数は23例となっています。過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期(9～19例)と比較して、本年は、最も多くなっています。
- ・アメーバ赤痢の先週追加分の報告が1例あります。本年の累積報告数は13例で、病型別にみると、腸管アメーバ症11例(女3例、男8例)、腸管外アメーバ症2例(ともに男)です。年齢は24～72歳で、その内40歳以上が10例となっています。また、推定感染経路は、経口5例、不明7例、性行為感染1例です。推定感染地域は、国内9例、海外3例、その他1例です。

## ◆ 今週のトピックス:〈腸管出血性大腸菌感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告は6例で、本年の推移を週別にみると、今週が最も多くなっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

## ◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・今週の麻しん全数発生報告は1例です。5月25日から始まった市内全医療機関からの麻しん発生件数(成人麻しんを含む。)については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

## ◆ 発生状況

## 全数報告の感染症

- ・二類:結核 6例(肺結核 3例、その他 3例)(第30・31週追加分を含む)
- ・三類:腸管出血性大腸菌感染症 6例(O157 VT1VT2 2例, O157 VT2 2例, O111 VT1 2例)
- ・五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例(第31週追加分)

## 定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68、小児科定点41、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.07	126
	② ヘルパンギーナ	2.07	85
	③ 手足口病	0.41	17
	③ 突発性発しん	0.41	17
	⑤ 咽頭結膜熱	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	1.40	14

## 病原体情報

ありません。

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈腸管出血性大腸菌感染症〉 / 京都市麻しん全数発生報告  
付表(疾病、保健所別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

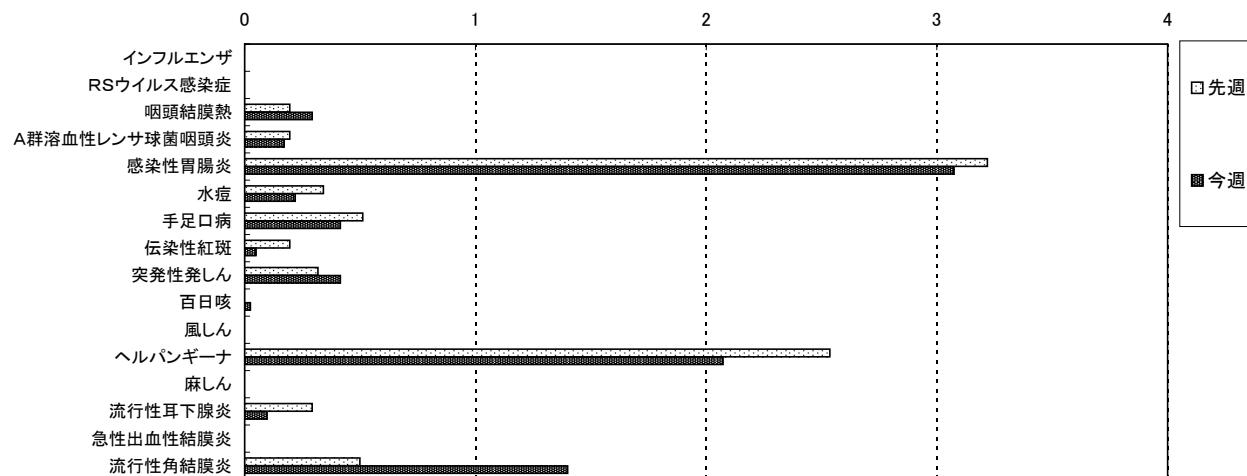
(注)京都市のデータは、平成19年8月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

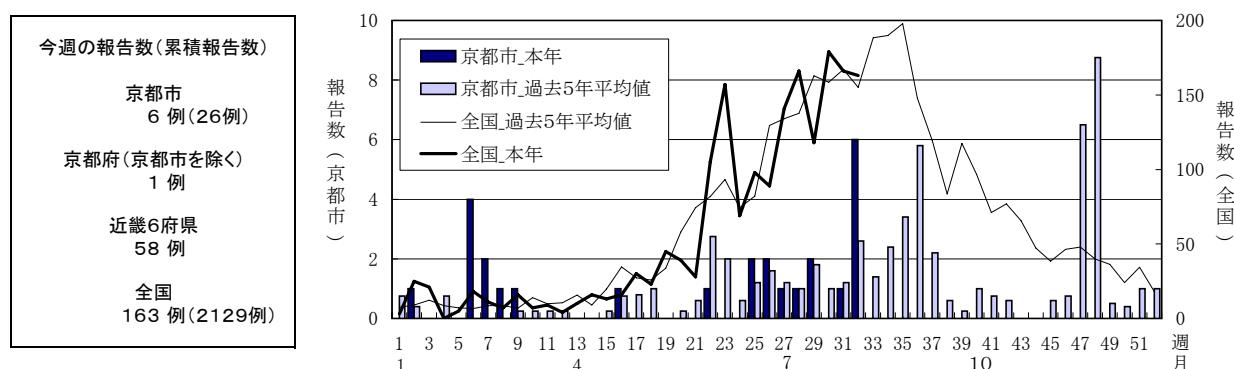
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

## ◆ 発生状況の概況グラフ

### 1 今週(第32週)と先週(第31週)の定点当たり報告数の比較

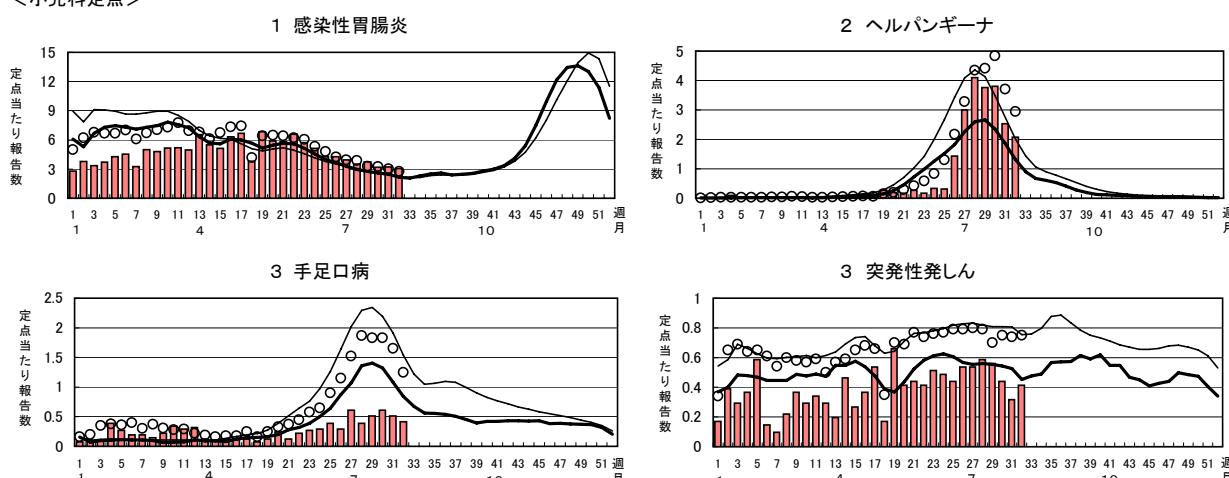


### 2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

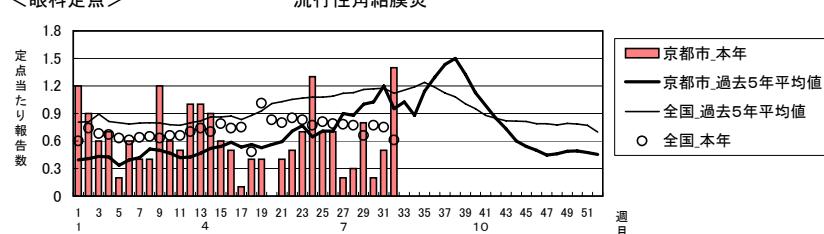


### 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



# 今週(第32週)のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

今週の報告は6例で、本年の推移を週別にみると、今週が最も多くなっています。なお、累積報告数は26例となっています。全国では、第24週以降、増加しています。

8月の報告数を血清型別にみると、O111(VT1)が3例と最も多く、O157(VT1VT2)及びO157(VT2)は各2例です。

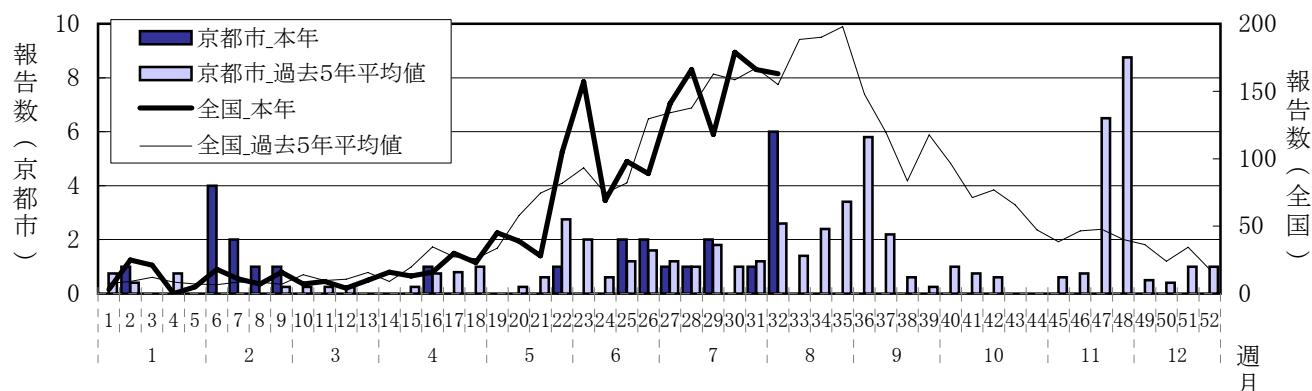
月別の発生状況をみると、6月以降、散発、家族内感染が続いているおり、8月は、特に家族内感染が多くなっています。今後も報告が続く可能性も考えられますので、動向にご注意ください。

10歳階級別に、本年の累積報告数をみると、0~9歳で最も多くなっていますが、各年代に報告があります。

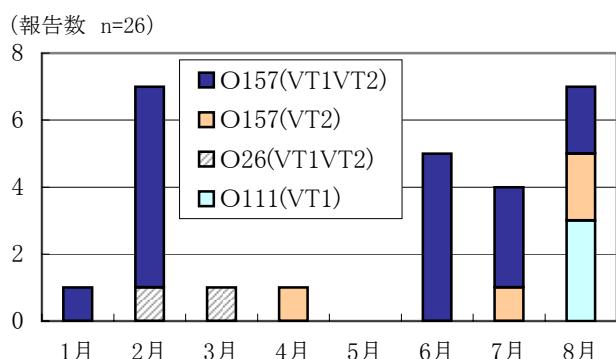
臨床症状(複数回答)別では、「腹痛」、「血便」、「下痢」などが多く、主症状となっています。0~9歳(n=10)、10歳以上(n=16)の2群で、10人当たりの割合を算出し、比較すると、特に「無症状」で、10歳以上が多くなっています。

特に抵抗力が弱い人では、重い症状がでやすいので、早期の適切な治療が重要です。

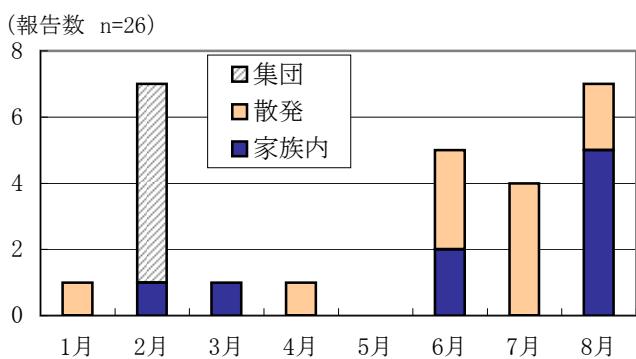
本年の週別月別発生状況の推移



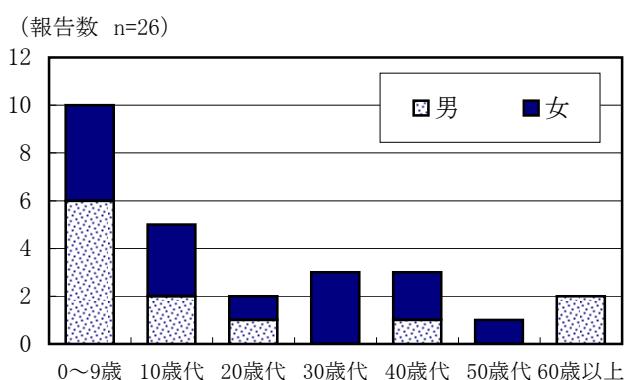
本年の月別血清型別累積報告数



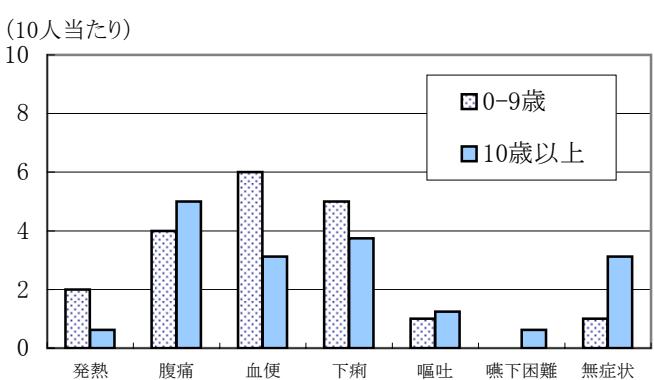
本年の月別発生状況別累積報告数



本年の性別10歳階級別累積報告数



本年の年齢群別臨床症状(複数回答)の比較(10人当たり)



# 京都市麻しん全数発生報告

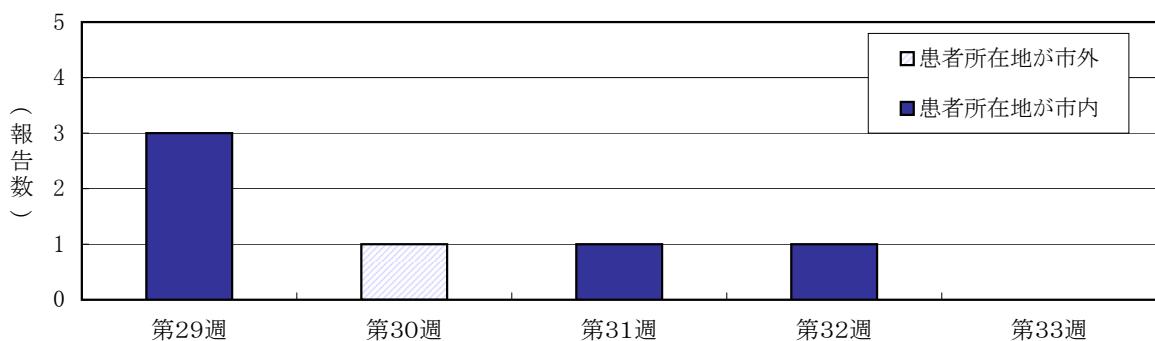
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から8月19日までの報告を初診週別に集計しています。

## 1 推移

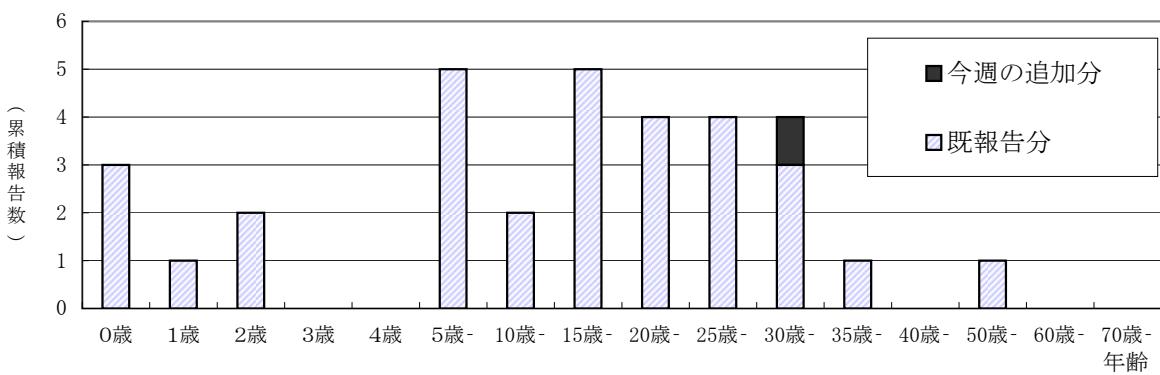
初診週	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	累積報告数 (第17週以降)
今週の追加分	-	-	-	1	-	1
既報告分	3	1	1	-	-	31
合 計	3	1	1	1	-	32

## 2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



## 3 年齢階級別



### ＜参考＞ 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数: 麻しん(小児科定点)41, 成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第32週

疾病,保健所別報告数

平成19年8月6日～平成19年8月12日

データ入手日:平成19年8月20日

	(※) インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	球A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※) クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計																					
北	-	-	2	-	6	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	6	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	8	1	2	-	3	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	-	
東山	-	-	-	-	30	-	1	1	1	-	-	3	-	-	-						
山科	-	-	-	-	6	1	2	-	1	-	-	7	-	-	-	1					
下京	-	-	-	1	2	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	2	1	22	1	-	-	1	-	-	30	-	1	-						
右京	-	-	-	-	7	-	2	1	2	-	-	5	-	-	-	10					
伏見	-	-	7	-	13	1	3	-	2	1	-	6	-	-	-	1					
西京	-	-	1	5	19	3	2	-	4	-	-	15	-	1	-	-					
京都市計	-	-	12	7	126	9	17	2	17	1	-	85	-	4	-	14	-	-	-	-	

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※) インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	球A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※) クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計																					
北	-	-	0.50	-	1.50	-	1.00	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-	0.33	-	-	2.00	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	1.75	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	2.67	0.33	0.67	-	1.00	-	-	1.67	-	0.67	-	1.00	-	-	-	-	
東山	-	-	-	-	15.00	-	0.50	0.50	0.50	-	-	1.50	-	-	-						
山科	-	-	-	-	1.50	0.25	0.50	-	0.25	-	-	1.75	-	-	-	1.00					
下京	-	-	-	0.50	1.00	0.50	0.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	0.67	0.33	7.33	0.33	-	-	0.33	-	-	10.00	-	0.33	-						
右京	-	-	-	-	1.40	-	0.40	0.20	0.40	-	-	1.00	-	-	-	10.00					
伏見	-	-	1.00	-	1.86	0.14	0.43	-	0.29	0.14	-	0.86	-	-	-	0.50					
西京	-	-	0.25	1.25	4.75	0.75	0.50	-	1.00	-	-	3.75	-	0.25	-	-					
京都市計	-	-	0.29	0.17	3.07	0.22	0.41	0.05	0.41	0.02	-	2.07	-	0.10	-	1.40	-	-	-	-	

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第32週

年齢階級、疾病別報告数

平成19年8月6日～平成19年8月12日

データ入手日:平成19年8月20日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
インフルエンザ(※)	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
RSウイルス感染症	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳～	70歳以上	60歳～	70歳～	80歳以上
咽頭結膜熱	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢2	12	-	1	3	3	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢3	7	-	-	-	1	2	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢4	126	2	13	29	6	11	8	10	10	5	6	2	15	3	6	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	9	-	1	3	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢2	17	-	1	8	4	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢4	17	-	10	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢2	85	1	9	17	18	12	5	7	5	4	2	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢4	4	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	14	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	6	1	4	-	1	-	-
細菌性齶膜炎(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性齶膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性齶膜炎は齶膜炎菌性齶膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級、疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
インフルエンザ(※)	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
RSウイルス感染症	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳～	70歳以上	60歳～	70歳～	80歳以上
咽頭結膜熱	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢2	0.29	-	0.02	0.07	0.07	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢3	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢4	3.07	0.05	0.32	0.71	0.15	0.27	0.20	0.24	0.24	0.12	0.15	0.05	0.37	0.07	0.15	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.22	-	0.02	0.07	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢2	0.41	-	0.02	0.20	0.10	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.05	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢4	0.41	-	0.24	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢1	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢2	2.07	0.02	0.22	0.41	0.44	0.29	0.12	0.17	0.12	0.10	0.05	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	0.05	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢4	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	1.40	-	-	-	-	0.10	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	0.60	0.10	0.40	-	0.10	-
細菌性齶膜炎(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性齶膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性齶膜炎は齶膜炎菌性齶膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第32週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年8月20日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	1	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	1	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	10	9	10	14	8	12	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	18	11	17	8	7	
感染性胃腸炎	162	144	154	131	132	126	
水痘	36	36	20	10	14	9	
手足口病	25	16	21	25	21	17	
伝染性紅斑	8	13	7	10	8	2	
突発性発しん	22	24	23	18	13	17	
百日咳	—	—	—	—	—	1	
風しん	—	1	2	—	—	—	
ヘルパンギーナ	123	168	154	156	104	85	
麻しん (※)	2	—	—	—	—	—	
流行性耳下腺炎	16	17	6	12	12	4	
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	
流行性角結膜炎	2	3	8	2	5	14	
細菌性齶膜炎 (※)	—	—	—	—	—	—	
無菌性齶膜炎	—	—	—	—	—	—	
マイコプラズマ肺炎	1	—	—	—	—	—	
クラミジア肺炎 (※)	—	—	—	—	—	—	
成人麻しん	—	—	—	—	—	—	
合計	442	450	416	395	325	294	

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性齶膜炎は齶膜炎菌性齶膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	0.01	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	—	0.02	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	0.24	0.22	0.24	0.34	0.20	0.29	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83	0.44	0.27	0.41	0.20	0.17	
感染性胃腸炎	3.95	3.51	3.76	3.20	3.22	3.07	
水痘	0.88	0.88	0.49	0.24	0.34	0.22	
手足口病	0.61	0.39	0.51	0.61	0.51	0.41	
伝染性紅斑	0.20	0.32	0.17	0.24	0.20	0.05	
突発性発しん	0.54	0.59	0.56	0.44	0.32	0.41	
百日咳	—	—	—	—	—	0.02	
風しん	—	0.02	0.05	—	—	—	
ヘルパンギーナ	3.00	4.10	3.76	3.80	2.54	2.07	
麻しん (※)	0.05	—	—	—	—	—	
流行性耳下腺炎	0.39	0.41	0.15	0.29	0.29	0.10	
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	
流行性角結膜炎	0.20	0.30	0.80	0.20	0.50	1.40	
細菌性齶膜炎 (※)	—	—	—	—	—	—	
無菌性齶膜炎	—	—	—	—	—	—	
マイコプラズマ肺炎	1.00	—	—	—	—	—	
クラミジア肺炎 (※)	—	—	—	—	—	—	
成人麻しん	—	—	—	—	—	—	
合計	11.90	11.20	10.75	9.79	8.30	8.23	

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性齶膜炎は齶膜炎菌性齶膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。